

2009年（平成21年）度 第5回理事会記録

日時：2009年（平成21年）12月12日（土）14:35 16:30

場所：八重洲倶楽部 第2会議室

出席者：内山安男（理事長） 牛木辰男、岡部繁男、河田光博、藤本豊士（以上、常務理事） 明坂年隆、天野 修、石村和敬、井関尚一、岩永敏彦、小路武彦、小林 繁、坂井建雄、佐々木順造、佐藤洋一、仙波恵美子（以上、理事） 竹田 扇（常任幹事）天野恵子、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：寺島俊雄（理事） 相磯貞和、渡辺雅彦（監事）

・理事長挨拶

参集への謝辞にはじまり、政府への基礎医学の現状改善を求める要望書提出、生物科学連合の声明発表についての説明があった。また、解剖学会として後継者育成に関してはアドホック委員会で検討中である事が説明された。

・議事録署名人の選任

第4回の議事録署名人として坂井建雄、天野修の両理事を、第5回の議事録署名人として井関尚一、明坂年隆両理事を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

・会議記録の確認

- (1) 2009（平成21）年度第3回理事会記録、同摘録、同議事録（案）
- (2) 2009（平成21）年度第3回理事会記録、同摘録、同議事録（案）
- (3) 2009（平成21）年度総会記録、同摘録、同議事録（案）
- (4) 2009（平成21）年度第4回理事会記録、同摘録、同議事録（案）
- (5) 2009（平成21）年度第1回理事会記録、同摘録、同議事録（修正案）

・報告事項

1．庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 教授就任による申請学術評議員

8件の申請について報告、確認がおこなわれた。

(2) 名簿の販売状況について

名簿販売の現況報告がなされ、現在の残部に関して一部は次回の学術集会で販売し、一部は口腔保健協会での保管料との兼ね合いから廃棄する事を確認した。名簿販売未収納金の回収、残部の販売促進に協力して欲しい旨の依頼があった。

(3) 持ち回り理事会結果について

資料4をもとに報告がおこなわれた。

(4) 申請による学術評議員について

4件の申請について報告、確認がおこなわれた。

(5) ホルマリンアンケートについて

アンケート実施要領に関して報告が行われ、結果の開示は次回の理事会で行なわれる事が確認された。

(6) 将来計画WGの開催について

11月14日にWGが開催され、基礎医学教育・研究の活性化に対する文部科学大臣への要望書を纏めるのが主な議題であった事が報告された。この議論をもとに生理学会の岡田会長へ解剖学会としての修正案の提示を行なったことが報告された。

(7) 3学会合同での文部科学大臣あての要望書提出について

上記のWGの答申を盛り込んで生理学会の岡田会長が纏めた案が紹介され、今後細菌学会、ウイルス学会、薬理学会等にも参加を呼びかけていく方針が示された。

(8) 事業仕分けについて

資料に基づいて事業仕分けに就いて説明があり、11月18日付で内山理事長名のパブリックコメント依頼が解剖学会員全員にあったことが報告された。

2．編集報告（藤本編集担当理事）

(1) 科研費申請について

平成21年度の学術雑誌出版補助の科研費不採択理由2項目が提示され、レフェリー制度に関しては文書で回答を、刊行経費に関しては単年度申請とする事に対応した旨の報告があった。

3．企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

(1) 平成22年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞について

標記の募集について解剖学雑誌に掲載され12月10日現在の応募は前者が6名、後者が0名であることが報告された。選考委員会は12月23日に行なわれる事、奨励賞に関しては年齢制限等の条件の変更について今後検討する予定である事が報告された。

- (2) 2010（平成22）年度総会・全国学術集会準備状況について（この項目は佐藤洋一理事の発言）
順調に準備が進行中で、演題も700題程度が集まっていることが報告された。また、河田理事から生理学会との合同シンポジウムに関してシンポジストの選定等が行なわれた事が追加された。
- (3) 2011（平成23）年度総会・全国学術集会開催日程について
2011年3月28日～30日に日本生理学会と共催で、パシフィコ横浜で行う事が報告された。口頭発表は基本的にシンポジウムのみで、一般演題はポスター形式で行なう事、使用言語は原則として英語である事が報告された。但し、マクロ解剖学などは分野の性格を考えて日本語も可となる方向性が提示された。
- (4) 1級解剖技術士審査について
受験者が病気の為、受験しなかったこと、受験料の返還は行わない旨の報告がされた。
- (5) 2級解剖技術士審査結果について
受験者1名が合格した旨が報告された。
- (6) 生科連について
生科連の設立経緯が紹介された後、「学術および科学技術の研究振興政策に関する要望」書を宮島篤連合代表以下25名連記で内閣総理大臣ならびに所轄関係大臣宛に提出した旨の報告があった。また内山理事長が記者会見に出席した旨が報告された。
- (7) IFAAについて
本年は南アフリカで、次回は中国で開催される事が報告された。中国開催の際にはアジア圏ということで基本的に協力的な体制で望む必要が生ずる事が示された。
- (8) 6th APICAについて
2011年にインドネシアで開催することを決定した旨の報告があった。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

- (1) 支部学術集会決算について
支部活動費の使用状況に関して報告があり、その支給額等の見直しを審議事項とする旨が提案された。本件に関して各支部長を中心に意見聴取が行なわれた。
- (2) 2009（平成21）年度総会・全国学術集会収支決算について
次回の理事会で収支決算について諮る事とした。
- (3) 平成21年度中間決算書について
資料に基づいて説明がなされ、補正予算に関して審議事項とする旨が報告された。

審議事項

1. 名誉会員の推薦について
該当者2名を承認し、この2名を総会に推薦する事とした。
2. 永年会員の推薦について
該当者14名を承認した。今後、被推薦人への確認と会費納入状況を確認の上総会で諮る事とした。
3. 解剖学雑誌後付「おしらせ」のホームページ（HP）への掲載移行について
本学会では定款に総会議事内容を一般会員へ通知することを掲げている。解剖学雑誌後付への総会議事内容の掲載をHPに移行した場合に、今後会議内容の通知をどの様に行うかに関して諮られ、当面は活字のポイントを小さくしてページ数縮減に対応し、理事会等の議事録はHP上のみでの公表とする方針が承認された。
4. 公益法人改革について
資料に基づき一般社団法人移行へのスケジュール案が示され、司法書士費用の支出および本件の平成22年度の総会での採決、平成23年度からの移行という計画に基づいて進めることが承認された。
5. 2013（平成25）年度総会・全国学術集会開催校について
近年の開催地のバランスを考慮した上で西日本が妥当であるとの判断から香川大が候補地として提案され承認された。
6. 事務委託契約について
口腔保健協会との学会事務代行契約の継続が承認された。
7. 平成21年度補正予算（案）について
当初年度計画に変更が生じたため、補正予算を組む事で対応する事が提案され承認された。
8. 平成22年度事業計画（案）について
資料に基づいて説明が行なわれ、承認された。

9. 平成22年度仮予算（案）について

仮予算執行案に関する説明があり、承認された。会員名簿費を積み立てるか否か、支部活動費の取扱いをどの様にするかに関して意見交換が行なわれた。名簿販売未納金の回収を徹底する旨が承認された。

10. 全国学術集会への抄録集補助について

抄録集への学会からの援助に関して来年度迄は実費を支給する事としているが、平成24年度以降には抄録は支部会の分も含めてなるべく電子化を推進することが承認された。更に、今後の冊子体の在り方に就いて、抄録集の方向性、経費削減等に関して3月の理事会までに地方会レベルでの意見を集約しておく事になった。

11. 学会誌バックナンバー保管委託契約について

東亜ブックに委託し、保管料は無料である事、並びに毎年合本一部を無償で受領する権利が付与される事が説明され承認された。また、販売された冊子の利益は東亜ブックに帰属することも同時に説明され、承認された。東亜ブックとの契約日は理事会の開催日とする事も承認された。

12. その他

坂井理事より、「解剖体を用いた外科手術のトレーニング計画に関して行なったアンケート調査」の結果報告があり、その詳細は後日内山理事長宛に送付される旨が確認された。

(次回理事会の開催日程に関して)

平成22年度第1回理事会 2010年3月27日（土）午後 岩手医科大学

以上の日程が承認された。

上記の2009年度（平成21年度）第5回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2010年（平成22年） 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人